

沖縄県知事選挙応援に参加して

事務局員 西宮 秀史

9月19日から22日の4日間、那覇民商を拠点に沖縄県知事選挙の応援に参加させていただきました。天候は晴れ、気温は32度の中で貴重な体験をさせて頂いた報告を致します。

嘉数高台公園

最初に空港から車で20分程の嘉数高台（かかずたかだい）公園に到着。展望台に上がると海兵隊沖普天間基地が見渡せます。ニュースや新聞等で紹介されるオスプレイが待機しているあの写真がここからとられているのがわかります。上の写真はほぼ肉眼サイズです。昔、米軍が強引に土地を取り上げ整地した基地です。現在では住宅地が立ち並び空中に穴をあけた様に見えてしまいます。住宅だけでなく、保育園、大学まで点在し、近くにはタワーマンションが建築中です。飛行訓練の些細なミスが住民に被害をもたらす可能性あり、危険が常に隣り合わせの日常を実感しました。



朝の宣伝

朝立ち沖縄スタイルです。7時すぎから道路や交差点の角でのぼりやプラスタ（大きなポスター）を持ち、通勤、通学の方にひたすら手を振り「おはようございます」と挨拶します。マイク等は使いません。那覇民商前に大阪、熊本、福岡の仲間と多い時は14名で活動しました。駅前での活動はありませんでした。これは鉄道が県内13キロ



弱のモノレールしかない車社会だからではと思います。「暑いのにご苦労様」のお声掛けや車中で手を振って返して頂ける等の反応が以外と多く嬉しく、躍起になって手を振っていました。

街頭宣伝

1チーム3名で歩行移動し角地等で関西弁でガンガン宣伝しました。車中から「デニーさんの？」とわざわざ車止めて激励、玄関や駐車場から出てきて「暑い中ご苦労様」挨拶に出てきてもらえる方には基地や消費税増税の会話もあちこちでできました。ビラ配りで訪問した薬局の84歳のお婆さんは戦争反対を節に語ってくれながら戦争のつらさやすごさを息子たちに伝えきれない責任がある。のお話しは子供の頃、戦闘を目の当たりに体験されたのであろう辛さ、悲しさがあると感じました。

核兵器廃絶デモ

毎週金曜日に開催されている核兵器廃絶デモに参加しました。お昼休みの時間を狙って県庁の周り1周20分ほどを行進します。35年続けておられ、今回で1803回目とお聞きして、継続は力なりを実感しました。



多くの仲間と出会い

宣伝カーも民商、全商連、野党各党、他団体と何度も出会いました。マイクで「お互いがんばりましょう!」、歩行移動中に新婦人のグループとも出会い「ご苦労様です。がんばりましょう」とエール交換しました。ただ、相手候補の宣伝カーに一度しか出会いませんでした。組織票重視、期日前投票の勧誘に重点をおいているとの情報はありましたが、候補者コール合戦がない静かな感じが逆に不気味です。期日前投票は投票日に都合のつかない方の為の有権者救済の対応なのに、得票数を獲ることに特化され本来の期日前投票とかけ離れた利用に違和感を強く感じました。



会費集金は会員の心をあしめる活動です 毎月10日までには集めましょう
商工新聞は経営のヒント・へらしの知恵がいっぱい 毎週必ず届けましょう